

JILPT 調査シリーズ

No.152

2016年5月

UIJターンの促進・支援と地方の活性化 —若年期の地域移動に関する調査結果—

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



UIJ ターンの促進・支援と地方の活性化
—若年期の地域移動に関する調査結果—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

わが国全体でみると雇用情勢の改善傾向が続いているものの、雇用情勢の水準には今なお地域差が残っている。こうした中、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定など、地方創生が国・自治体にとって重要な政策課題となっている。そこでは、地域の人口減少とその背景にある地域からの若年者流出が問題視され、若者の地元定着や大都市圏からの UIJ ターン促進が求められている。若年者の地方定着・還流のためには、地域に良質な雇用機会があることが重要な条件であり、地域雇用対策の重要性はいつそう高まっているといえる。

そこで当機構では、アンケート調査によって若年期の地域移動（地域からの転出や UIJ ターン）の実態を把握するとともに、地域の雇用創出・就業支援や UIJ ターン促進の取組みについてヒアリング調査を続けている。本調査シリーズは、アンケート調査を中心に結果を取りまとめたものである。

本調査結果が、各方面における政策議論に貢献することができれば幸いである。

2016年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 菅野 和夫

執筆担当者

氏 名	所 属
高見 具広 <small>たかみ ともひろ</small>	労働政策研究・研修機構 研究員

※資料編所収の単純集計結果の作成にあたっては、喜始照宣（労働政策研究・研修機構臨時研究協力員）の協力を得た。

プロジェクト研究「労働力需給構造の変化と雇用・労働プロジェクト」
サブテーマ「雇用機会の創出と労働移動に関する研究」
「地域における雇用機会と就業行動に関する研究」参加者
(肩書きは 2016 年 3 月時点)

渡邊 博顕 <small>わたなべ ひろあき</small>	労働政策研究・研修機構統括研究員
高見 具広 <small>たかみ ともひろ</small>	労働政策研究・研修機構研究員
喜始 照宣 <small>きし あきのり</small>	労働政策研究・研修機構臨時研究協力員

目次

第I部 本編	1
序章 調査目的と調査概要	3
第1節 調査の目的	3
第2節 調査の概要	7
第3節 本調査シリーズの構成	9
第1章 データの特性（回答者の特徴）	10
第1節 回答者の性別・年齢・学歴	10
第2節 回答者の就業の状況	11
第2章 地方出身者における出身地からの転出	12
第1節 転出のタイミングと理由	12
第2節 転出先の地域	14
第3節 小括	16
第3章 地方出身者のUターン移動	17
第1節 Uターン移動の実態	17
第2節 Uターンに関わる支援ニーズの所在	22
第3節 Uターン移動の評価	28
第4節 小括	30
第4章 大都市出身者の地方移住	31
第1節 地方移住の中身	31
第2節 地方移住に関わる支援ニーズの所在	37
第3節 地方移住の評価	41
第4節 小括	44
終章 調査結果のまとめと含意	45
第1節 調査結果のまとめ	45
第2節 調査結果から得られる含意	45
補論 地域の状況・課題と取組み—ヒアリング調査から	47

第1節	ヒアリング調査の概要	47
第2節	ヒアリング調査結果	47
参考文献		51
第Ⅱ部 資料編		53
アンケート調査		55
	[調査票]	57
	[単純集計結果]	91
ヒアリング記録		137
[山形県鶴岡市]		
	ハローワーク鶴岡	139
	鶴岡市企画部地域振興課	142
	鶴岡商工会議所（鶴岡地区雇用対策協議会）	149
[福井県大野市]		
	ハローワーク大野	153
	大野市企画総務部企画財政課 結の故郷推進室	157
	大野市産経建設部商工観光振興課	162
[島根県大田市]		
	ハローワーク石見大田	170
	大田市政策企画部地域振興課 定住推進室	174
[徳島県美波町]		
	ハローワーク牟岐	180
	美波町総務企画課	183